

なきむしおかあさん

坂内 ばんない
大葵 ひろき

ぼくのおかあさんは、なきむしです。テレビをみてはもちろん、ぼくからのてがみや、しゃしんをみてもないています。ぼくが、

「どうしたの？」

ときくと、

「うれしいからだよ。」

といわれます。けんかをするとき「ごめんね。」といいながらなっています。そんなときは、ぎゅうつとして、二人でなかなかおりをします。

ぼくは、おかあさんをみていると、なぜかきゅうに、ぎゅう

うってしたくなります。ぼくがとつぜん、

「おかあさん。ぎゅうつてしよう。」

というとき、おどろいてから、えがおになります。おかあさんのえがおが、とてもだいすきです。だから、まいにちかい、かならずぎゅうつとするというやくそくを、ぼくがきめました。そしたら、またなきました。

これからおとなになるまでに、おかあさんのことを、あげりがとうのきもちをこめて、いっぱいぎゅうつしてあげたいです。そして、なきむしなおかあさんを、うれしいなみだでいっぱいにしたいです。